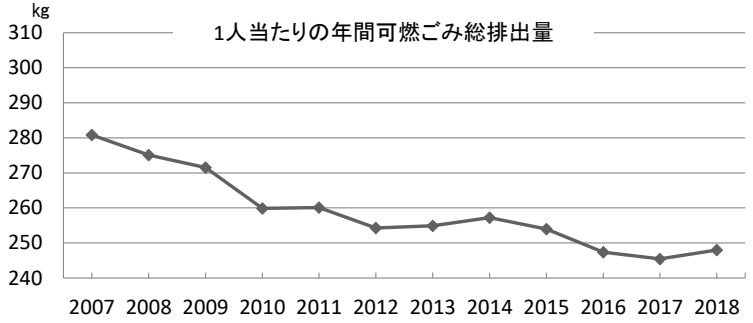
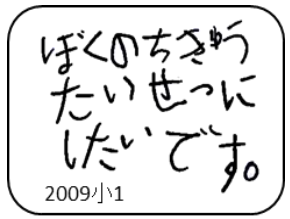
やっちゃれエコライフ2018取組み結果

・市民、事業所、小中高生と家族のみなさんなど合計8,275人参加。
・二酸化炭素約1,007kg（過去最高）の排出を防ぐことができました。
・中間市全世帯約2万世帯が一斉に約94分間消して防いだ排出量に相当。
・リッター15ｋｍの燃費の自動車1台が約6,570ｋｍ走行しないで
防いだ排出量に相当。





やっちゃれエコライフ２０１８集計結果表

参加者名	参加数（人） 本人	参加数（人） 家族	防いだ排出量（g）	参加率（%）
小学1～3年生	354	715	28,271	37.9
小学4～6年生	461	970	46,866	46.5
小　計	815	1,685	75,137	42.3
中学生	678	424	123,444	73.7
高校生	1,230	297	226,464	79.4
小中高小計	2,723	2,406	425,045	62.0
小中高学校職員	169	104	48,902	36.06
市職員	317	321	104,966	
遠賀川河川事務所	6	4	1,955	
宗像・遠賀福祉保健環境事務所	24	37	9,230	
地球温暖化防止活動推進センター	11	14	4,408	
リサイクル総研	6	7	2,432	
リサイクルプラザ	20	18	7,088	
各企業・事業所	438	422	139,192	
36自治会	627	408	222,786	
市内各団体（一部自治会含）	108	85	41,421	
小　計	1,726	1,420	582,380	
合　計	4,449	3,826	1,007,425	
総　計	8,275			

初めて参加した小学1年生の意見

・つかっていないへやのでんきをけしました。　・てれびはみるときだけつける。
・てれびのかわりにひらがなのれんしゅうをした。　・ごはんをちゃんとのこさずたべる。
・おふろのでんきをわすれずにけしました。おかあさんにみずをとめてと、おしえてあげました。
・でんきやみずのむだずかいをしなかったら、ちきゅうがまもられる。　・たべものをのこすのはもったいない。
・ごみのぶんべつをちゃんとしようとおもった。　・はやくねるのは、えこにもなるんだなとおもいました。
・みずをながしっぱなしにきをつける。

小学1年生の家族の意見

・改めてエコという事について考え、話す機会ができました。　・食事の際はテレビを消している。
・子どもにとっては初めてのエコライフ！この日だけではなく、毎日の生活の中でも心がけて、
親子で、がんばっていきたいと思います。　・知らず知らずの無駄使い。今回それに気づくことが出来ました。
・子どもたちもご飯を残さないように食べました。母親である私はおかずが残らないように料理をしました。
・これからも節電・節水を続けていこうと話し合うことができました。
・車を使わずに歩いたり、早くねるのは健康にもいいので、取り組んでいこうと思いました。
・いつも何気に使っている電気について少し考えるきっかけになり、”もったいない”を合言葉にしていきたいと思います。
・基本何もしていない我家。このプリントを見て、いろんな事が私たちにできるのだなぁーと思いました。

参加者・協力団体

市民のみなさん、中間市内全小学校（6校）、全中学校（4校）、北九州高等学園、希望が丘高校、 中間高校、北九州市立大学国際環境工学部二渡研究室、 国交省遠賀川河川事務所中間出張所、福岡県リサイクル総合研究事業化センター、福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所、福岡県地球温暖化防止活動推進センター、 中間市役所、中間市社会福祉協議会、中間・遠賀リサイクルプラザ、 底井野郵便局、イオンなかま、安川電機、 筑豊電気鉄道、東罐マテリアル、深江工作所、グリーンプラザ、 豊田パン、藤津薬局、 福岡銀行中間支店、中間市自治会連合会、中間ライオンズクラブ、 中間市婦人会、中間市シルバー人材センター、 中間市ボランティア連絡協議会、中間市子育て支援キューピー、 中間ほたる・メダカの会、中間市食生活改善推進会、 中間市文化団体連合会、中間混声合唱団ドレミ、 混声合唱団もみの木、千寿中間、デイサービスセンター 桃のはな、他（順不動）

主催：中間市民環境会議　なかまの環境を良くする会　後援：中間市・中間市教育委員会　協賛：福岡県地球温暖化防止活動推進センター
特別協賛：北九州市立大学国際環境工学部二渡研究室　問い合わせ先：なかまの環境を良くする会事務局（中間市 環境保全課）093-246-6265〔直通〕